

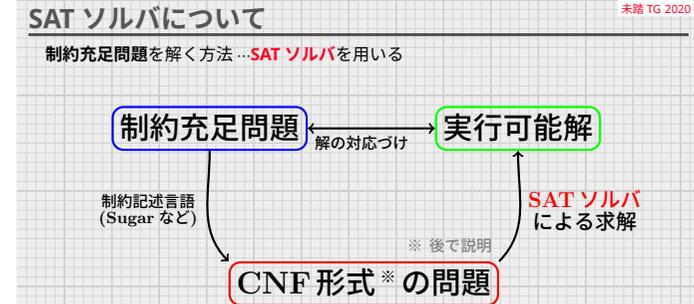
アニーリングを用いた効率的な制約充足問題ソルバの実装 — 制約充足問題をアニーリングで解こう —

小津 泰生 (名古屋大)

世の中の多くの問題は制約充足問題として表される。多くの場合、制約充足問題は CNF 形式に変換した上で、**SAT ソルバ** というソフトウェアを用いて解かれる。既存の SAT ソルバは古典コンピュータ上で実行されるが、逐次的に解の探索を行うため時間がかかる場合がある。

今回開発した SpoonQ の SAT ソルバでは、アニーリングによって得られた解を SAT ソルバに入力することで、より効率的に求解を行う。

アニーリング技術を応用し、既存の SAT ソルバと互換性のある SAT ソルバをつくることで、既に古典コンピュータ上で制約充足問題を解いていたユーザーに対して、**アニーリングに興味を持ってもらうきっかけ**を提供したいと考えている。



▲ SAT ソルバを用いた制約充足問題の解き方



▲ SpoonQ のアルゴリズム

アニーリングを用いた効率的な制約充足問題ソルバの実装 —制約充足問題をアニーリングで解こう—

小津 泰生 (名古屋大)

RustQUBO の使用例

未踏 TG 2020

```
1 let exp = -10_i32 * Expr::Binary(1) + 5_i32 * Expr::Binary(2) + 12_i32;
2 let compiled = exp.compile();
3 let solver = SimpleSolver::new(&compiled);
4 let (c, sol) = solver.solve().unwrap();
5 println!("{}", {:#?}", &c, &sol); // 2, {1: true, 2: false}
```

実数型

Rust 標準のすべての実数型 (i8, i32, i128, f32, f64 など) が利用できる。使用する Solver (Annealer) の **ビット深度** に対応

変数

Expr::Binary(...) が使える。... 部 (ラベル) には数値や文字列等、好きな型を入れられる。

その他

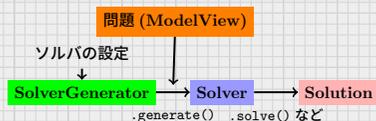
- 解のエネルギー、部分場の計算
- Constraint
- WithPenalty
- Placeholder

▲ RustQUBO の特徴

annealers について

未踏 TG 2020

複数のアニーリングマシンを **同じインターフェース** で扱えるようにするため、アニーリングマシンや解くべき問題を一般化する。



問題について

- Order**
- Quadric... 高々 2 次
 - HighOrder... N 次
- Note**
- DiscreteNode... 3 つ以上の値を取る変数
 - SingleNode... 真偽 2 つの値をとる変数
 - Spin / Binary / TwoVal

Real

ビット深度を表す。i8, i32, f64 など

ソルバについて

- ClassicalSolver... 古典コンピュータ上で動作する。与えられた乱数ジェネレータを用いて処理を行う
- AsyncSolver... 他のコンピュータと通信して処理を行う。
- UnstructuredSolver... 全結合かつ変数の番号の欠番がないソルバ
- UnsizeSolver... 変数の数に制限がないソルバ

▲ annealers の特徴

SpoonQ の他、以下の 2 つの Rust 言語向けライブラリを開発した。

RustQUBO

目的関数及び制約を扱うためのライブラリ。目的関数をアニーリングマシンで扱えるようにするため、石川の方法に基づいた次元削減を行う。RustQUBO 及び後述する annealers を組み合わせることにより、目的関数をアニーリングマシンまたはシミュレーテッドアニーリングを用いて解くことができる。また、解のエネルギーや部分場を求める機能も含む。

annealers

与えられた問題を内蔵シミュレーテッドアニーリングまたは外部アニーリングマシンによって解くためのライブラリである。各アニーリングマシンの特徴を抽象化したインターフェースを持っており、複数のアニーリングマシンを同じプログラムで扱うことができる。

RustQUBO について

未踏 TG 2020

特徴... QUBO 生成アルゴリズムに **石川の方法** を使用している

例: $\sum w_{ij} x_i x_j$ (4 次以降) を高々 2 次に変換

既存の方法 (PyQUBO 等) ... 追加のビット: $\sum u_i$, 制約: 2 個

$$0 = \min_{x_i} \sum_{i,j} w_{ij} x_i x_j = \min_{x_i} \sum_{i,j} (w_{ij} - 2u_i) x_i x_j = \min_{x_i} \sum_{i,j} (w_{ij} - 2u_i) x_i x_j$$

石川の方法 (RustQUBO) ... 追加のビット: $\sum u_i$, 制約: 0 個

$$-2 \sum u_i \left(\sum_{i,j} w_{ij} x_i x_j + 3 \sum u_i x_i + \sum u_i \right)$$

- アルゴリズムが制約を増やさない → アニーリングのやり直しが減る
- 追加のビット (Ancilla) が少なくて済む → アニーリングマシンに乗せやすい

▲ 石川の方法